

通信文化新報

園児が差し出し



サンタさんからプレゼントをもらって大喜びの園児たち

Xマスメール

大阪 東住吉局

大阪市の東住吉郵便局(高橋和彦局長)は十二月十四日、トミーインターナショナルスクールの園児四十人によるクリスマスメール

の差出会を開催した。手紙文化の普及が目的で、今回で二回目。園児たちは、似顔絵などを描き家族や祖父母、友達にあてたクリスマスメールを手にして並び、切手の購入、貼り付け、ポストへの投函という一連の流れを体験した。

また、サンタに扮した社員から、日本・フィンランドサンタクロース協会提供の「10人のトントシール」やポスト型の消しゴムなどを園児一人ひとりにプレゼント、「あしがより」とうれしそうに受け取っていた。

被災地の子どもも励ます

ふれあい交流会in仙台



「元気を出して」と子どもたちを励ますサンタクロース =12月14日、エル・パーク仙台

今回の来日に合わせて「宮城の子どもたちが書いたサンタさんへの手紙展」がエル・パーク仙台(十二月十六日まで)、地域ごとの作品展も県内約四十の郵便局で一斉に開催された(十七・二十五日)。約三万二千通の半数近くが津波被害を受けた沿岸部からのもので、そのうちの三千点が展示された。

本場のサンタクロースが昨年十二月十三日にフィンランドから来日し、成田空港を手始めに十六日まで宮城県石巻市、仙台市、名取市、福島県いわき市の東日本大震災被災地を訪問、幼稚園や保育園、公共施設などで子どもたちと交流イベントを開いた。十四日には仙台市を訪れ、エル・パーク仙台で子どもたち百八十人と心のふれあいを深めた。

サンタクロースと対面した子どもたちは「サンタさんは何色が好き?」「好きな食べ物は何?」「何歳ですか?」など質問を連発、サンタもユーモアたっぷり「赤」「納豆」「五百歳」と受け答え。プレゼントももらい、記念写真に収まるなど楽しいひと時を過ごした。

「サンタさんへ手紙を書こう!手紙を書いてサンタを街に呼ぼう!」企画には、二〇一〇年度は全国から四万六千通もの手紙が日本・フィンランドサンタクロース協会(〒4221-8002・静岡県駿河区谷田四〇二〇)に届いた。一位の宮城県は三万二千、二位の熊本県は一万三千で、一昨年十二月にサンタクロースが函館を訪れた。昨年三月十一日に東日本大震災が発生、甚

また、二〇一一年度の「サンタへの手紙」集計結果は総数一万七千七百二十八通。一位は山口県の一萬四千三百六十八、二位が徳島県の三百七十九、三位は香川県の二百九十五だった。サンタクロースは十七日に、山口市民会館で子どもたちと楽しいひと時を持った。